

全体の66%が紙での回答：紙回答が全体の過半数を占めており、高年齢層では紙媒体の需要が圧倒的

34%がQRコード回答：特に10代~40代でオンライン利用が進んでいることが確認できる

回答方法の違い

紙での回答

66%

総回答数

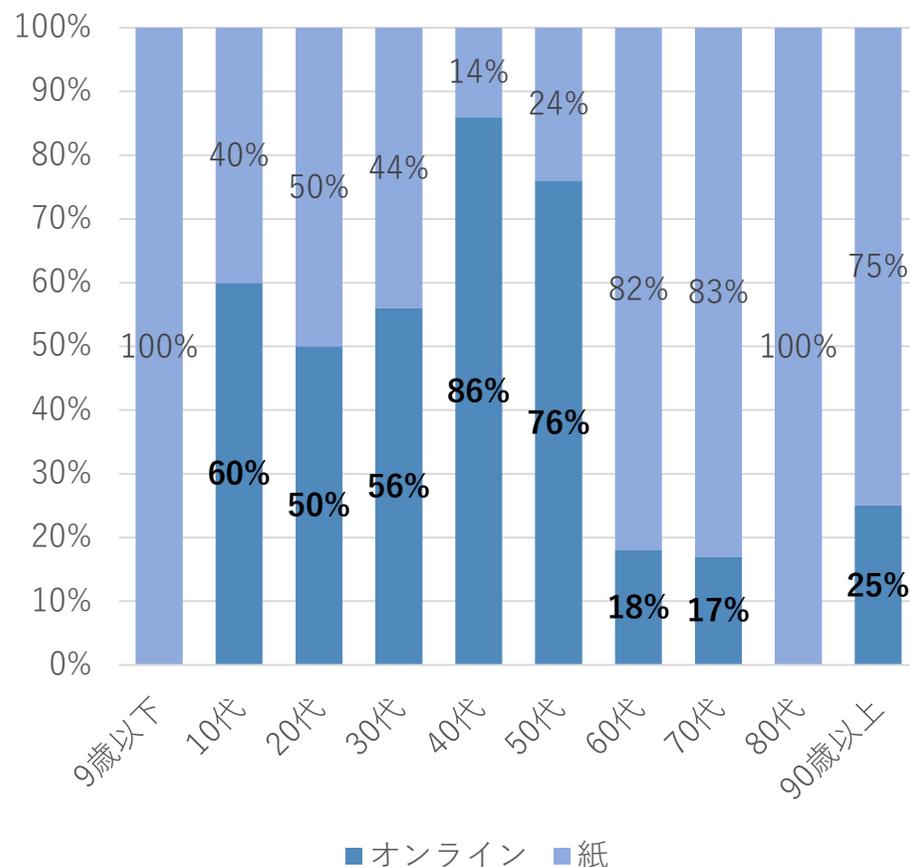
261件

オンライン回答

34%

オンライン回答

年代別に見たオンライン回答の割合

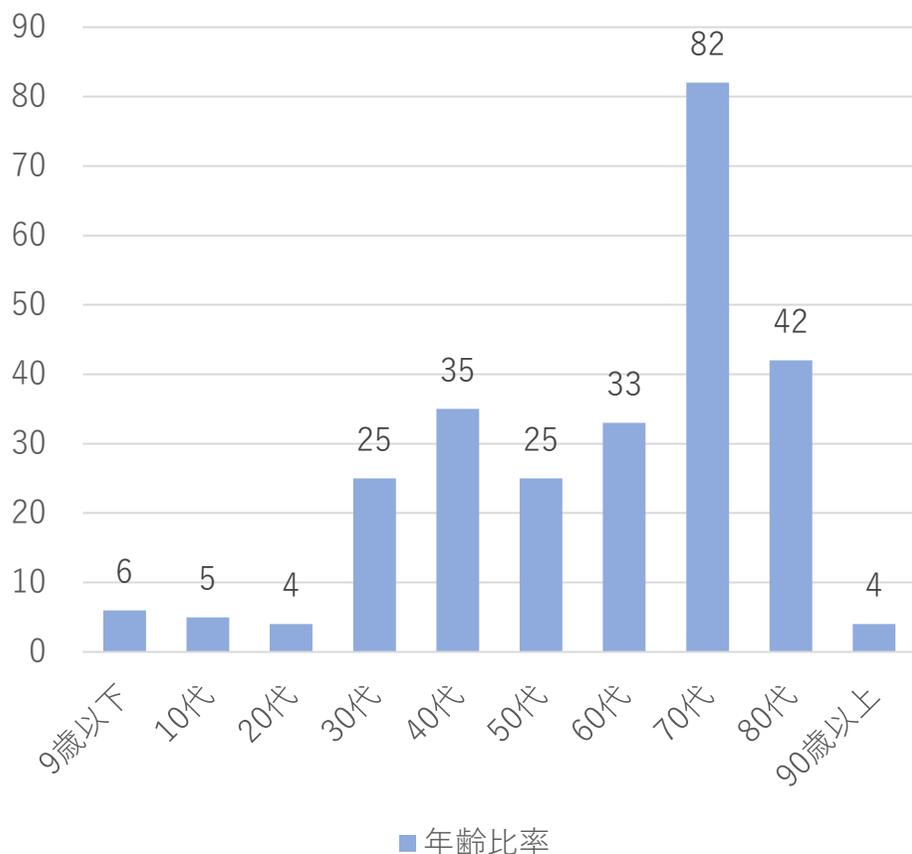


データ数が非常に少ない層の信頼性と偏り：9歳以下、10,20代、90歳以上のデータ数が少ないため、結果は裏付けが十分では無い

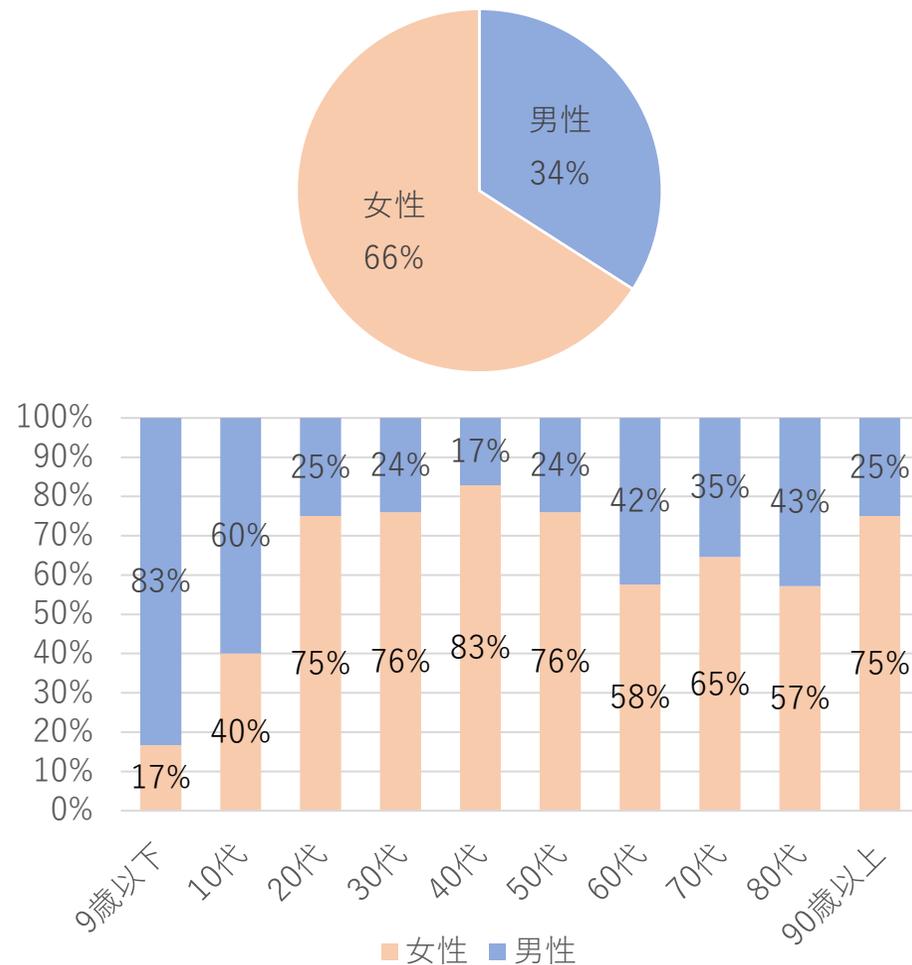
アンケートは高齢層が中心：70代・80代で全体の約47%を占める

女性が回答の66%を占る：女性の意見がアンケート結果を大きく左右している構図

年代によるアンケートの回答数

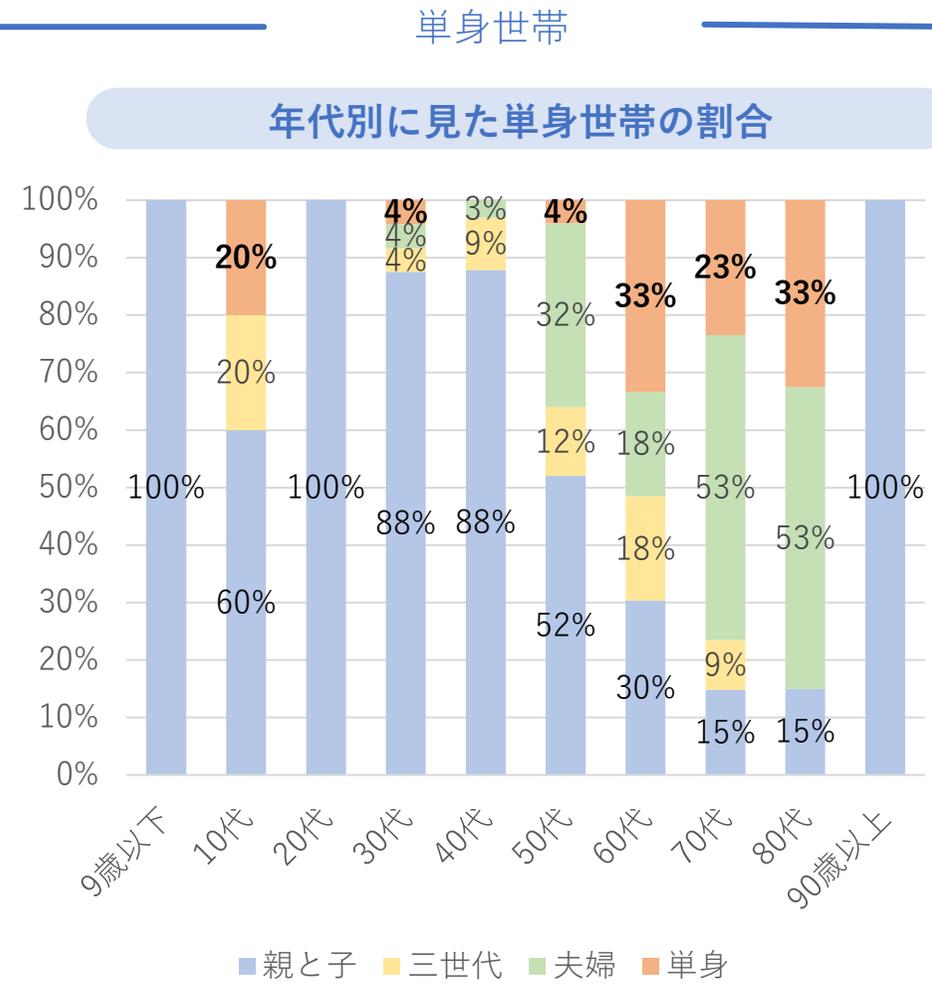
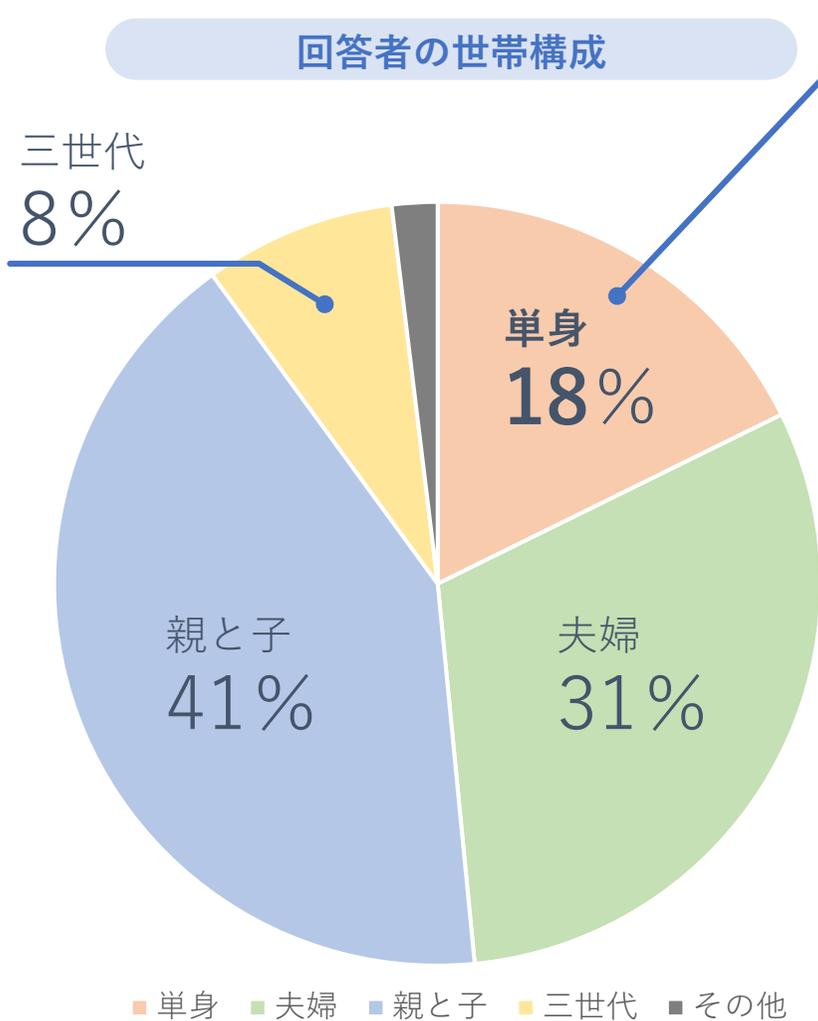


アンケートに回答した方の男女比



家族構成の割合：親と子世帯が最大多数構成(41%)、次いで夫婦のみ世帯が31%、単身世帯も一定数あり(18%)、全体の約5分の1が単身者という特徴が見られる。

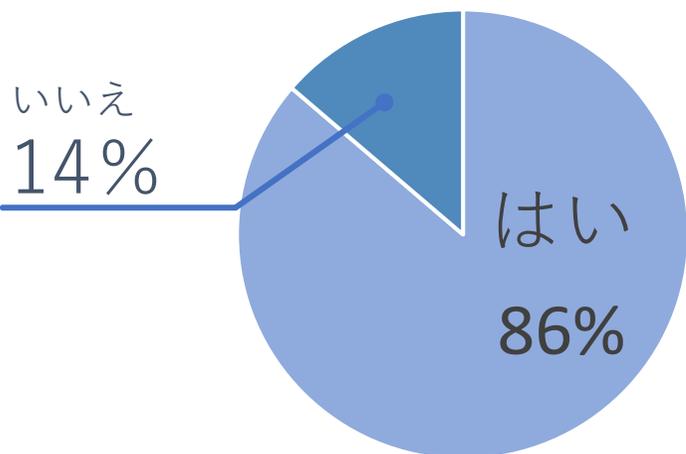
高齢者層における単身世帯の増加と支援体制の課題：60代以降、特に80代では単身世帯の割合が高いことが見える。配偶者との死別や高齢者施設への入居などが影響している可能性が高い。



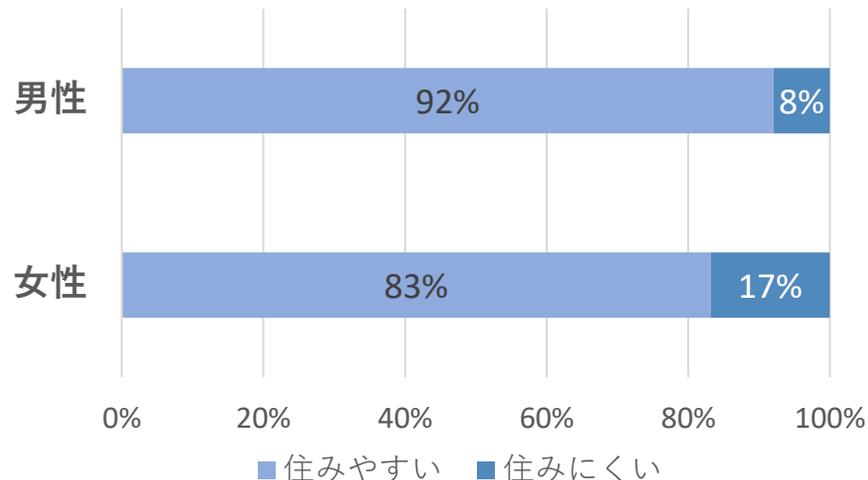
30代～40代：30代は「住みにくい」と感じる割合が最も高い。これは子育て環境や生活インフラが影響している可能性がある。

高齢層（60歳以上）：高い住みやすさを感じていますが、特に90歳以上は25%が「住みにくい」と回答。

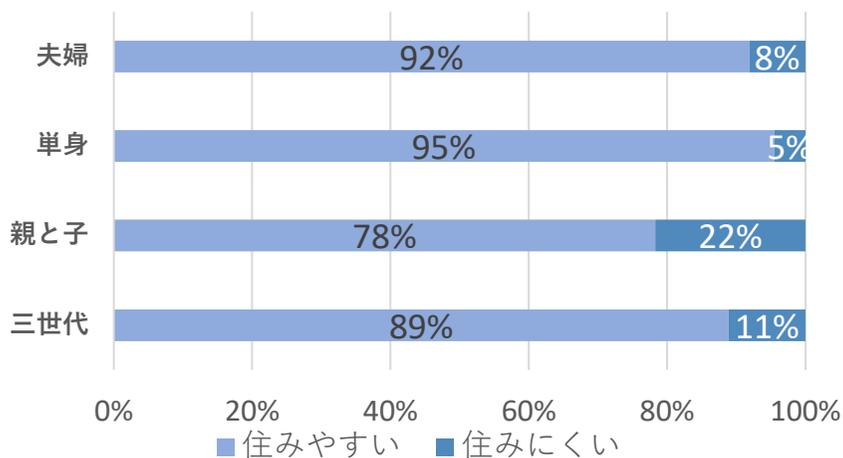
久慈学区は住みやすいですか



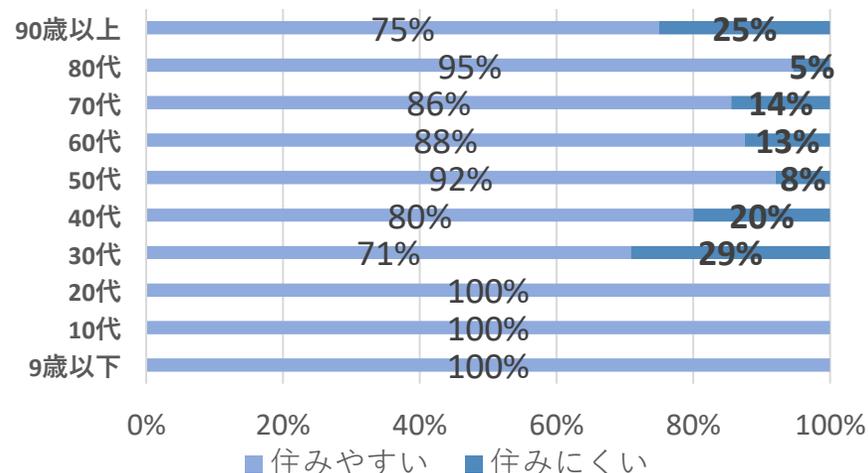
性別による住みやすさの割合



世帯による住みやすさの割合



年齢による住みやすさの割合



ポジティブな 意見

気候

- 夏涼しく、冬暖かい温暖な気候。
- 自然災害（特に台風）が少ないため安心して生活できる。
- 海と山に囲まれ、自然環境が豊かで風光明媚。
- 朝日が美しい海岸などの景観が魅力

治安

- 治安が良く、のんびりした雰囲気がある。
- 子供がいる家庭でも安心して暮らせる。

人との繋がり

- 地域の人々が親切で温かい。
- 地域行事やイベントが多く、コミュニティ意識が強い。
- 地元で生まれ育った人も多く、住民同士の絆が深い。

生活利便性

- 必要なインフラが整っており、生活に必要な事がほぼまかなえる
- 小学校・中学校が近いことや、子供が多い環境が子育て世帯には適している。
- 交流センターや図書館、病院といった施設が利用しやすいエリアもある。

自然と生活の調和

- 海・山・自然が身近なところで暮らせる。
- 地域住民から元気をもらえる環境がある。
- 夏休みや他の季節に子供が楽しめるイベントも豊富。

改善が 必要な課題

交通の不便さ

- 公共交通機関が貧弱（バスの本数が少ない、駅が遠い、BRTの延長を希望など）。
- 車がないと買い物や移動が難しい。
- 通勤時の交通マナーが悪いという声もあり

道路整備

- 道路が狭く、歩道が不足している（特に車通りが多いエリア）
- 道路がデコボコしているため、安全性が懸念される。

買い物環境

- スーパーや飲食店などの店舗の不足が指摘されている。
- 特に徒歩での買い物が不便なエリアが多い。

公園・子供の遊び場

- 綺麗な遊具のある公園が少ない。
- インフラ整備の一環として、子供のための場所を充実させる必要がある。

災害対策

- 地震や津波への不安が指摘されている。
- 高台のエリアは住みやすいが、海に近い場所では避難の準備が必要。

生活インフラ

- 病院の数が少なく、医療機関へのアクセスが不便。
- 街灯が少ないことで、夕方～夜間の安全性が懸念されている。

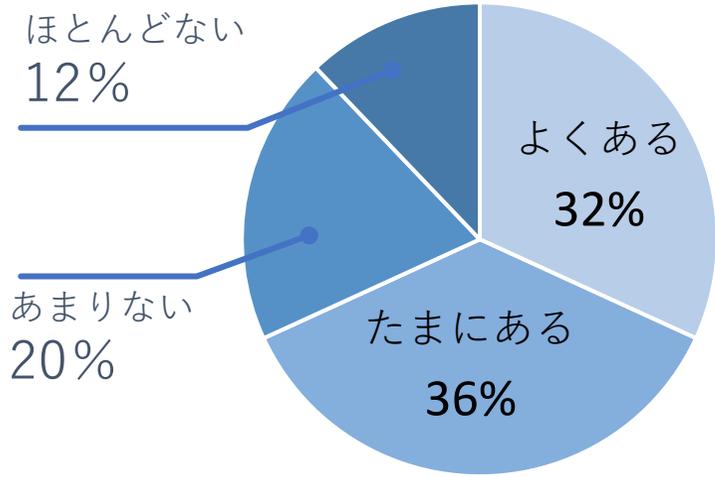
人口減少・地域活性化

- 人口減少に伴い、商店や公共サービスの減少が課題。
- 特定地域では静か過ぎるといった声もあり。

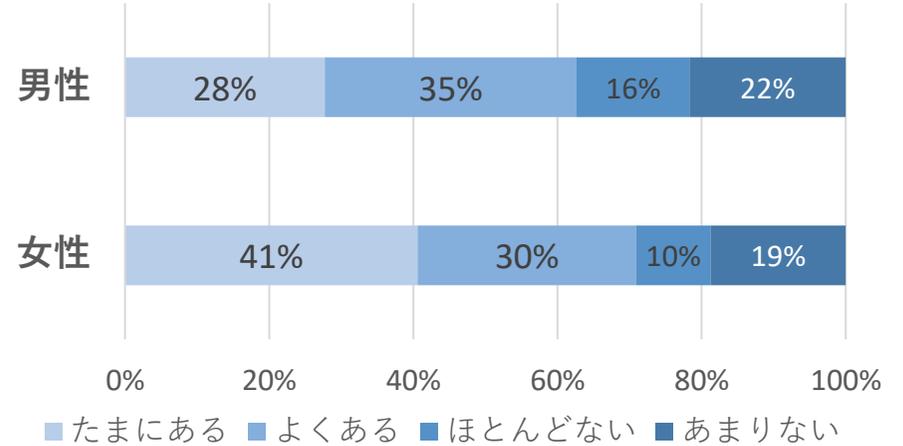
性別による地域交流の違い:女性はや地域との接点比較的多い。男性は交流が少ない層と多い層に分かれやすい。

高齢層(70代以上)で積極的な地域交流が顕著:高齢層ほど地域との関わりが深い傾向が見られる。

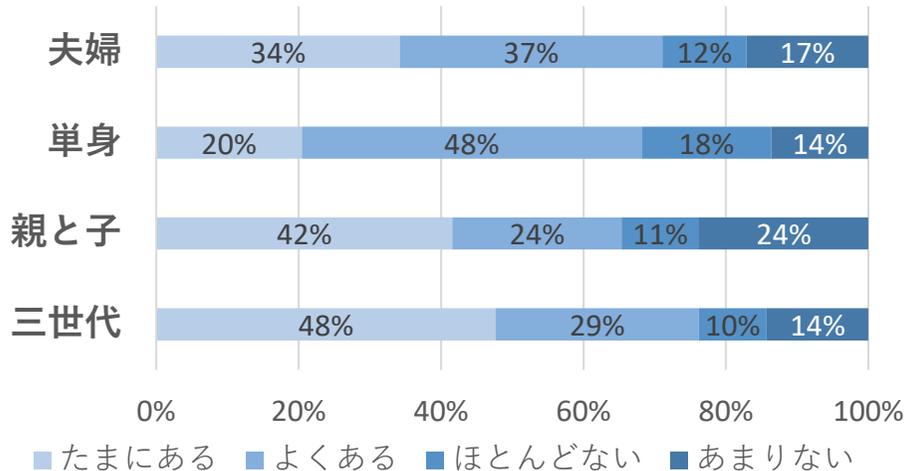
地域の方と交流がありますか



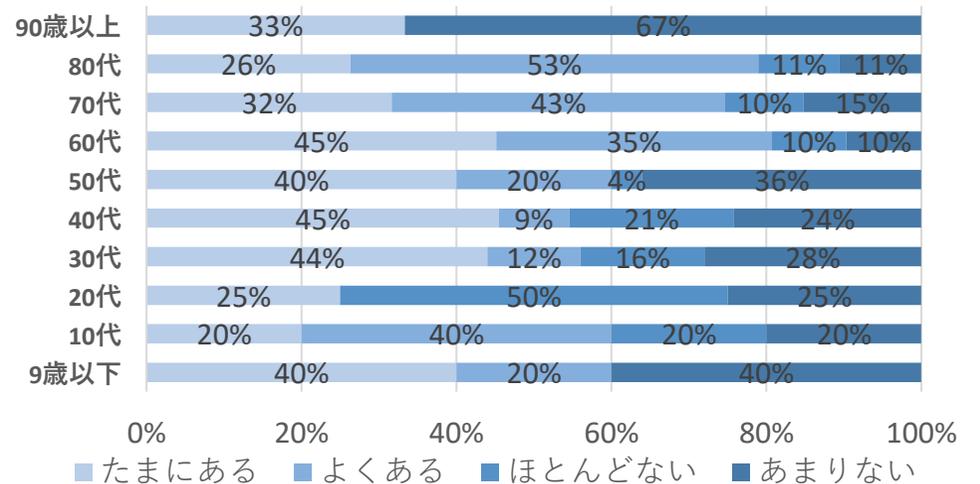
性別による地域の方との交流の割合



世帯による地域の方との交流の割合

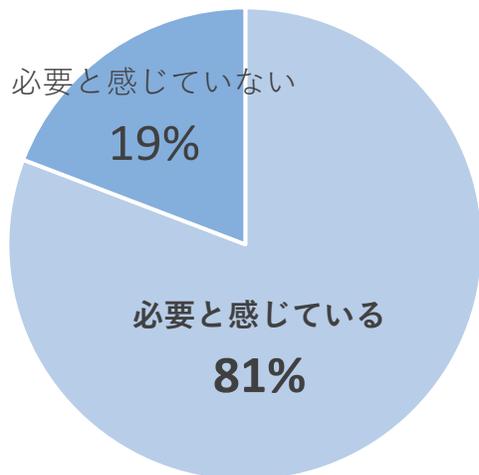


年齢による地域の方との交流の割合

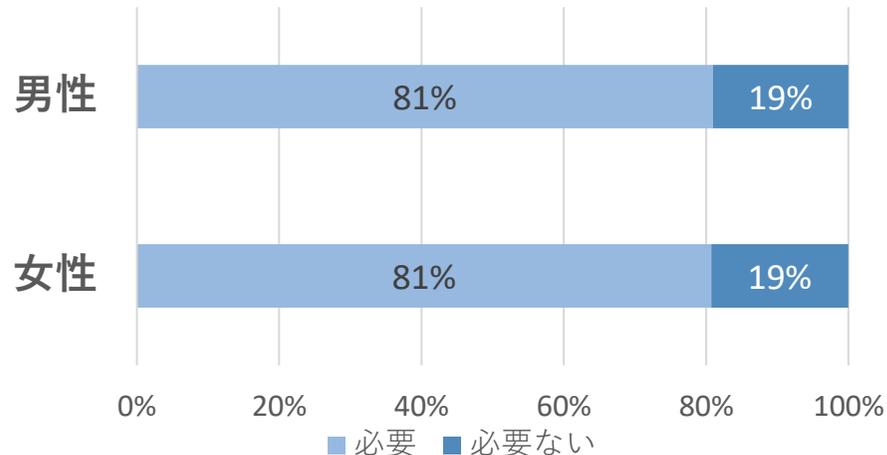


高齢者ほど必要性を強く感じている：80代では91%、90歳以上では100%が「必要」と応え、地域との関わりを重視している。一方若年層が地域交流の必要性を感じにくくなっている。

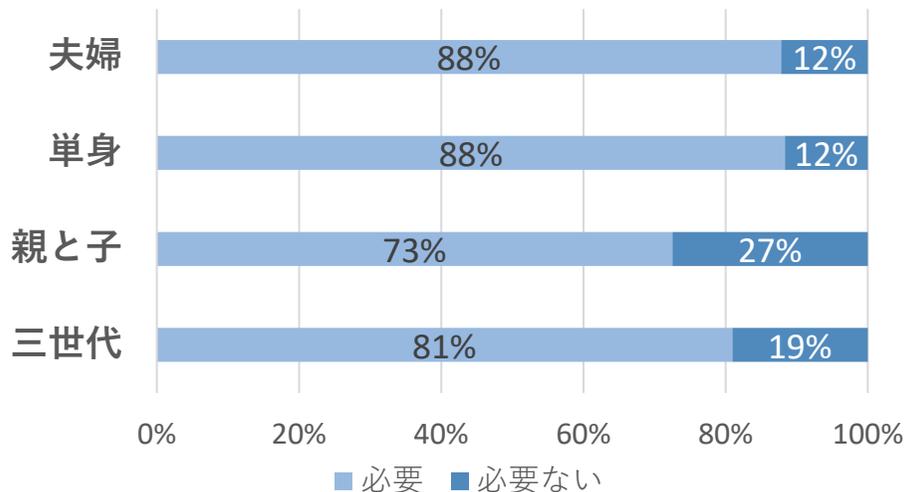
地域の方との交流についてどう思いますか



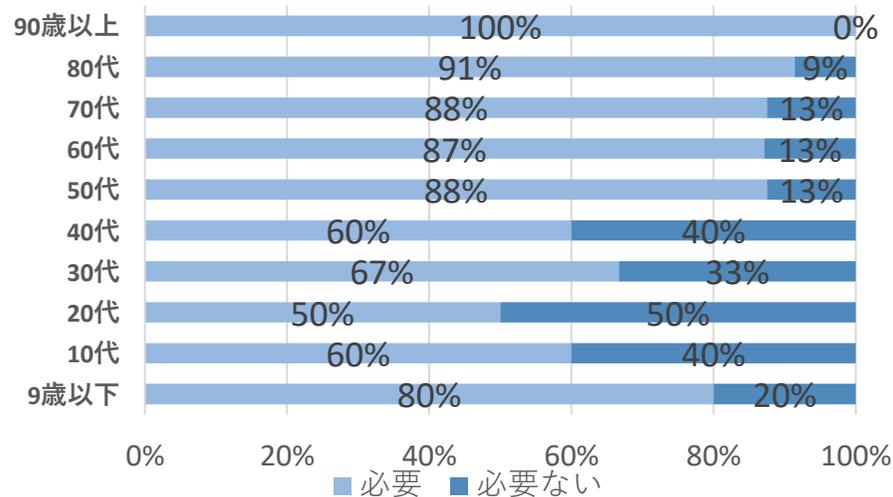
性別による地域の方との交流についての意見



世帯による地域の方との交流についての意見



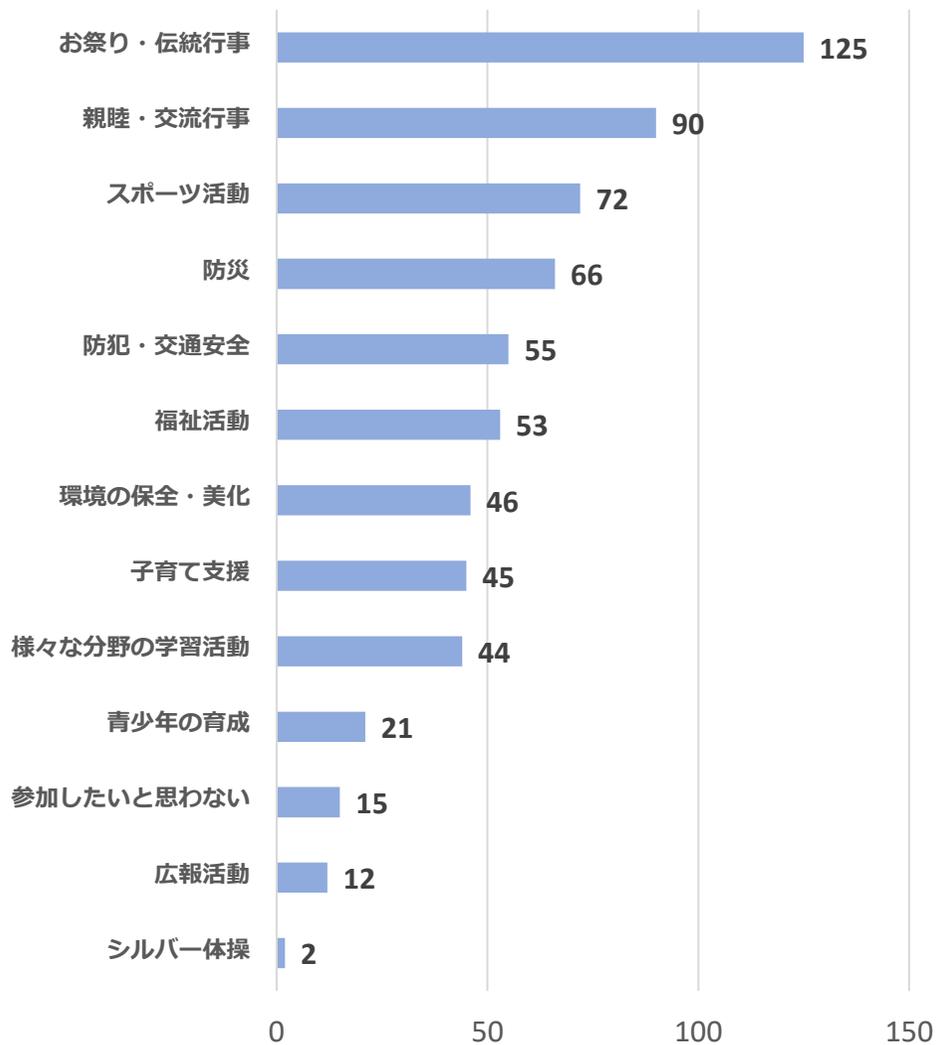
年代による地域の方との交流についての意見



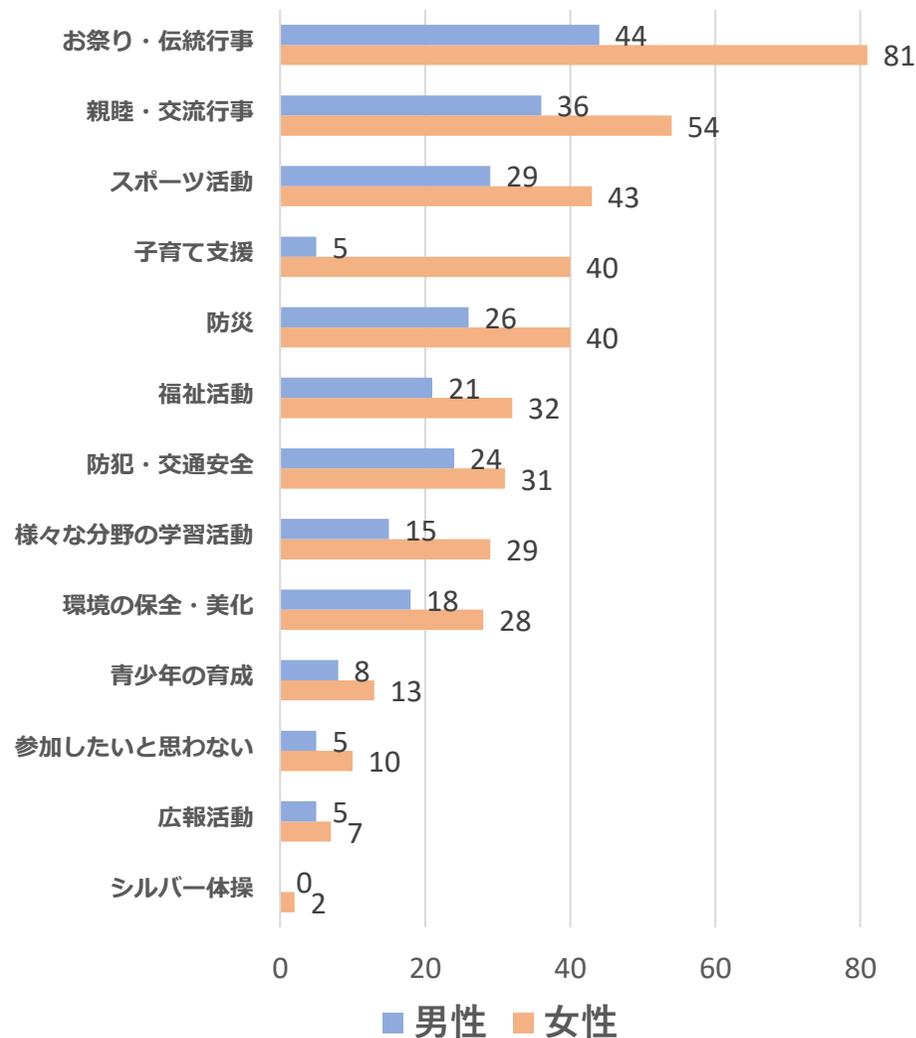
男女共に「お祭り・伝統行事」と「親睦・交流行事」に特に高い関心

性別による違い：子育て支援に関しては女性に圧倒的な人気があり、男性はあまり関心を持たない傾向が見える。

どのような活動ならば参加してみたいですか



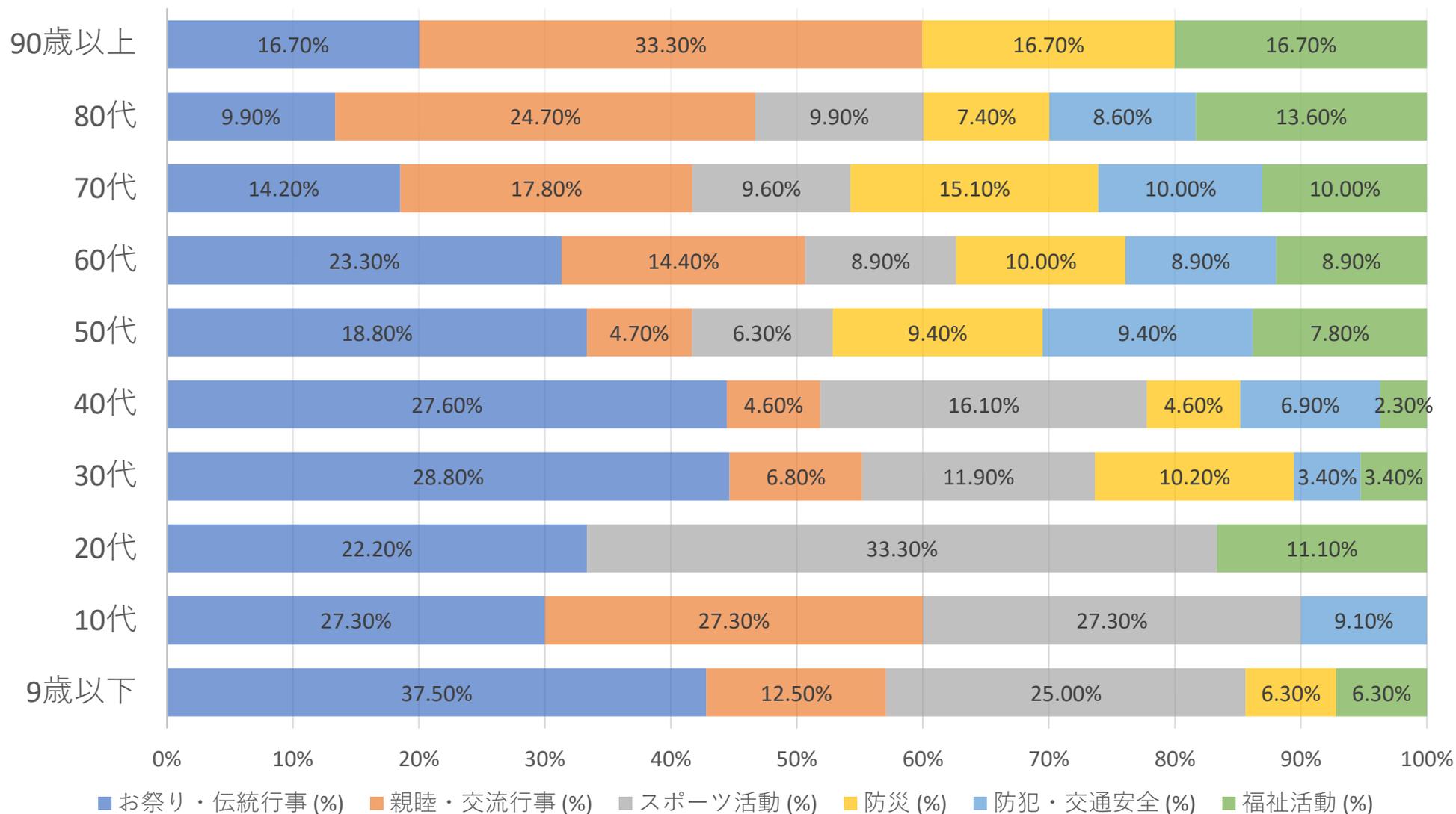
性別による違い



洞察：若年層はスポーツや学習、子育て世代は「子育て支援」といった活動に関心がある。一方で、高齢層は「防災」「福祉活動」など、生活に根差した分野への関心が高い。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
全体	お祭り・伝統行事	親睦・交流行事	スポーツ活動	防災	防犯・交通安全	福祉活動
90歳以上	親睦・交流行事	お祭り・伝統行事	防災	福祉活動	広報活動	---
80代	親睦・交流行事	福祉活動	環境の保全・美化	お祭り・伝統行事	スポーツ活動	防犯・交通安全
70代	親睦・交流行事	防災	お祭り・伝統行事	福祉活動	防犯・交通安全	スポーツ活動
60代	お祭り・伝統行事	親睦・交流行事	防災	スポーツ活動	福祉活動	防犯・交通安全
50代	お祭り・伝統行事	環境の保全・美化	子育て支援	学習活動	防犯・交通安全	防災
40代	お祭り・伝統行事	子育て支援	スポーツ活動	防犯・交通安全	環境の保全・美化	親睦・交流行事
30代	お祭り・伝統行事	子育て支援	スポーツ活動	防災	親睦・交流行事	青少年の育成
20代	スポーツ活動	お祭り・伝統行事	学習活動	子育て支援	福祉活動	---
10代	お祭り・伝統行事	スポーツ活動	親睦・交流行事	防犯・交通安全	青少年の育成	---
9歳以下	お祭り・伝統行事	スポーツ活動	親睦・交流行事	防災	学習活動	---

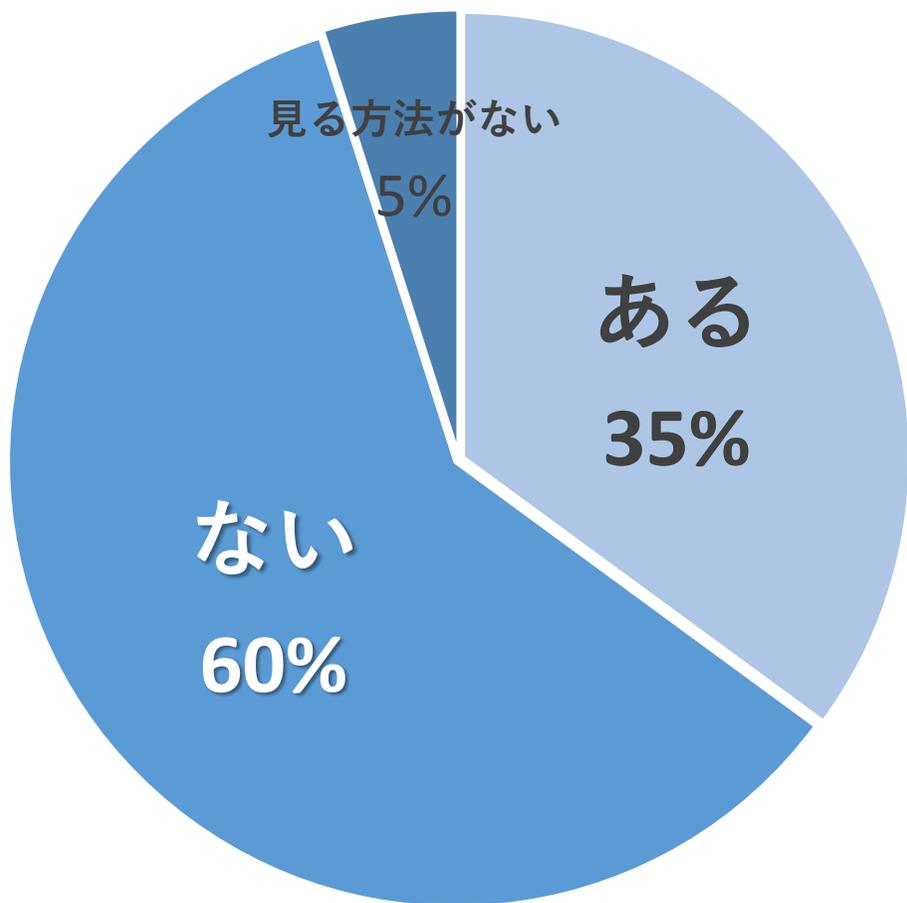
“地域のどのような活動ならば参加してみたいと思いますか”
という質問で回答が多かった上位6つの活動



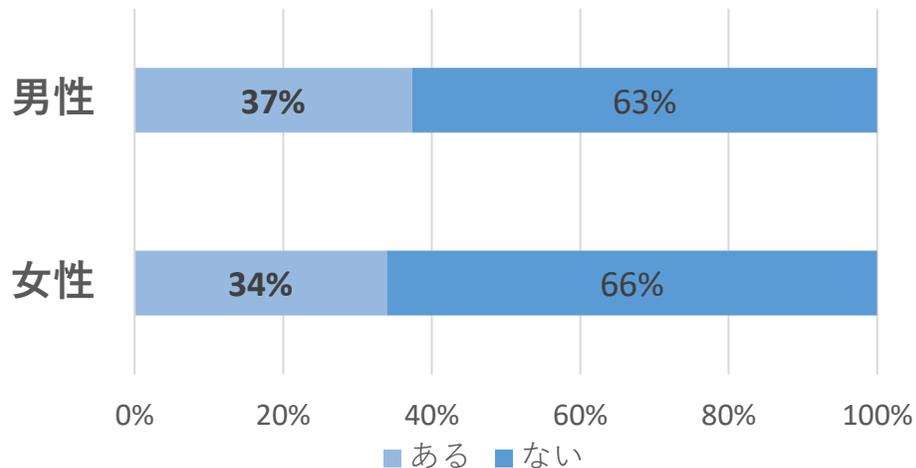
過半数が「見たことがない」と回答しているため、情報発信の認知度が低い

30代と50代が比較的高い割合：30代（38%）と50代（44%）は他の年代に比べて「見たことがある」割合が高い

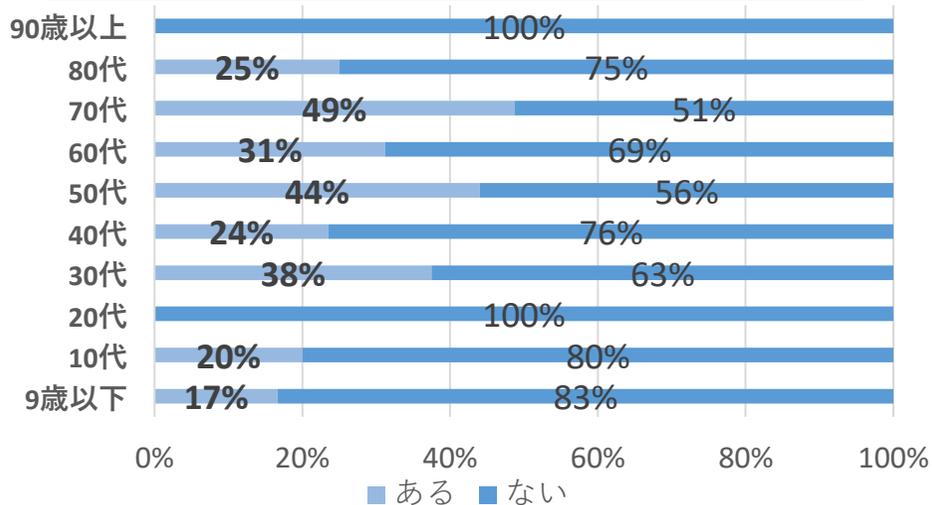
久慈学区コミュニティ推進会の
ホームページを見たことがありますか



性別によるホームページを見たことがある割合



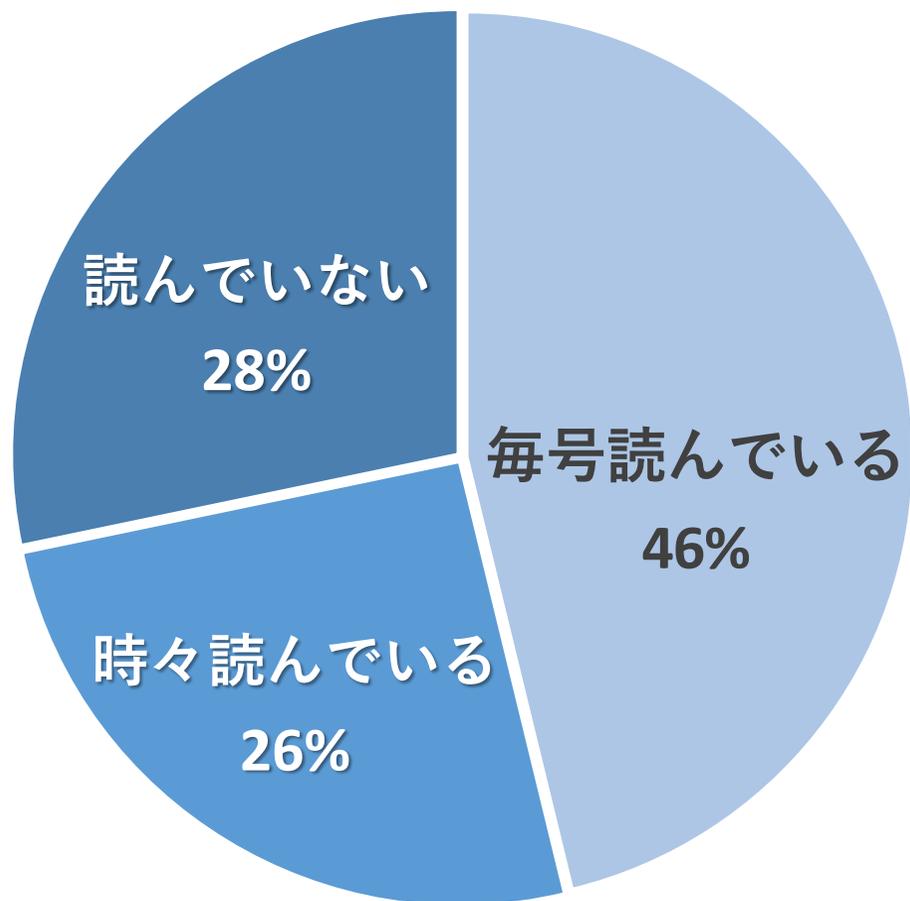
年齢によるホームページを見たことがある割合



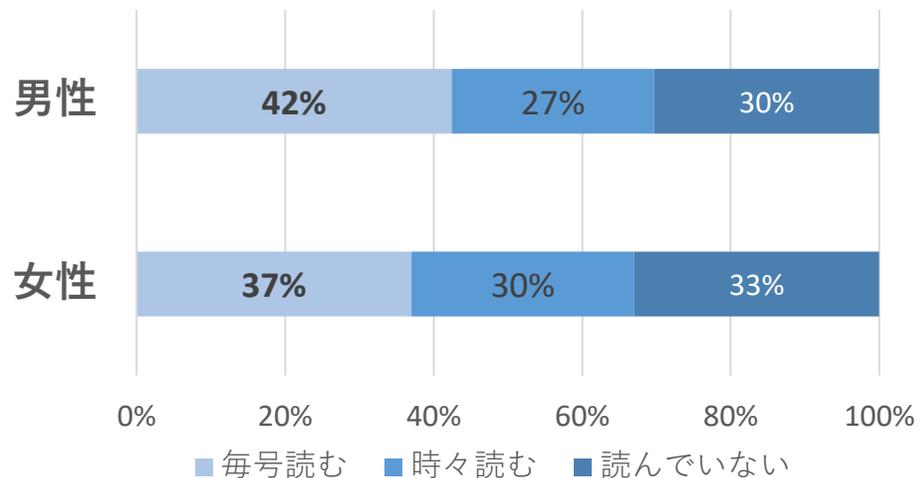
約7割が何らかの形で広報紙を読んでいる

高齢層(60代以上)では「毎号読む」の割合が圧倒的に高い：60代・80代でも50%以上が「毎号読む」と回答している

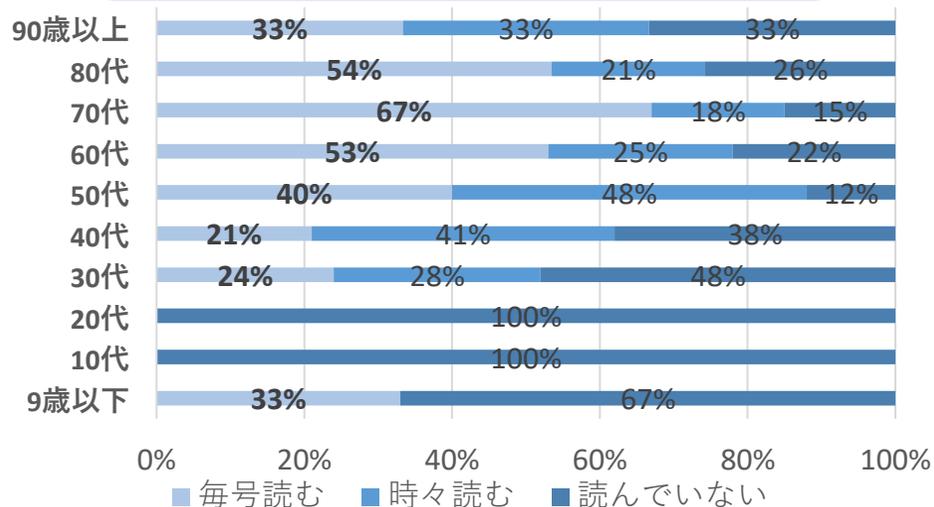
広報誌「久慈・コム」 を読んでいますか



性別による広報誌を見たことがある割合



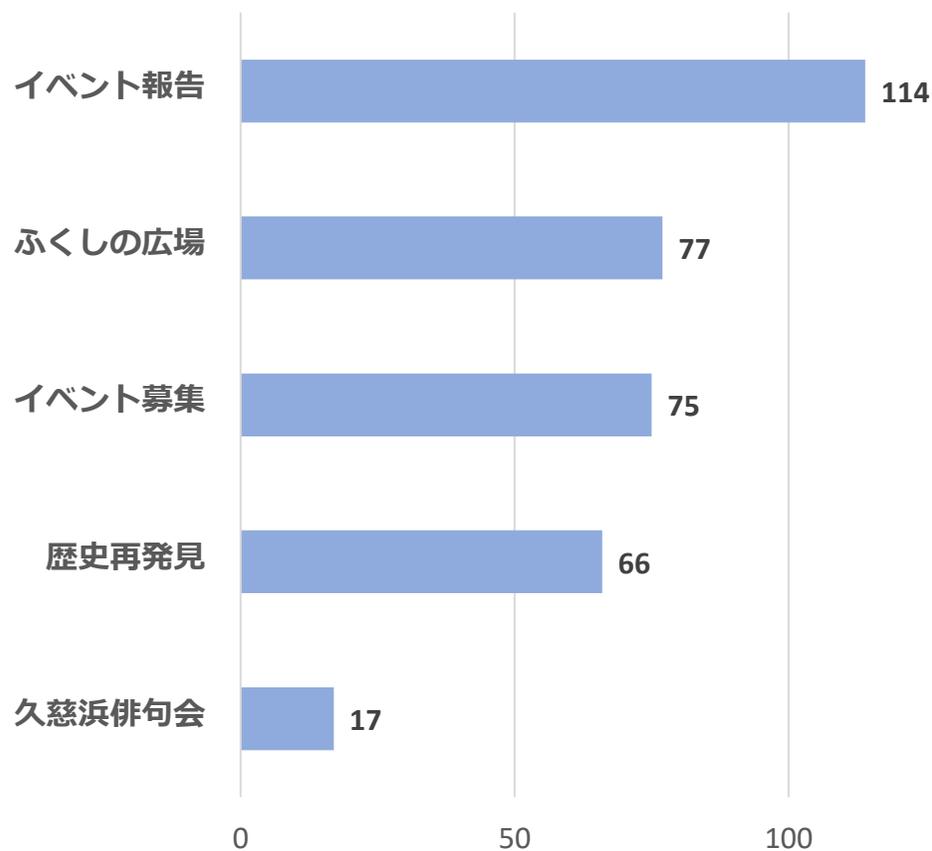
年齢による広報誌を見たことがある割合



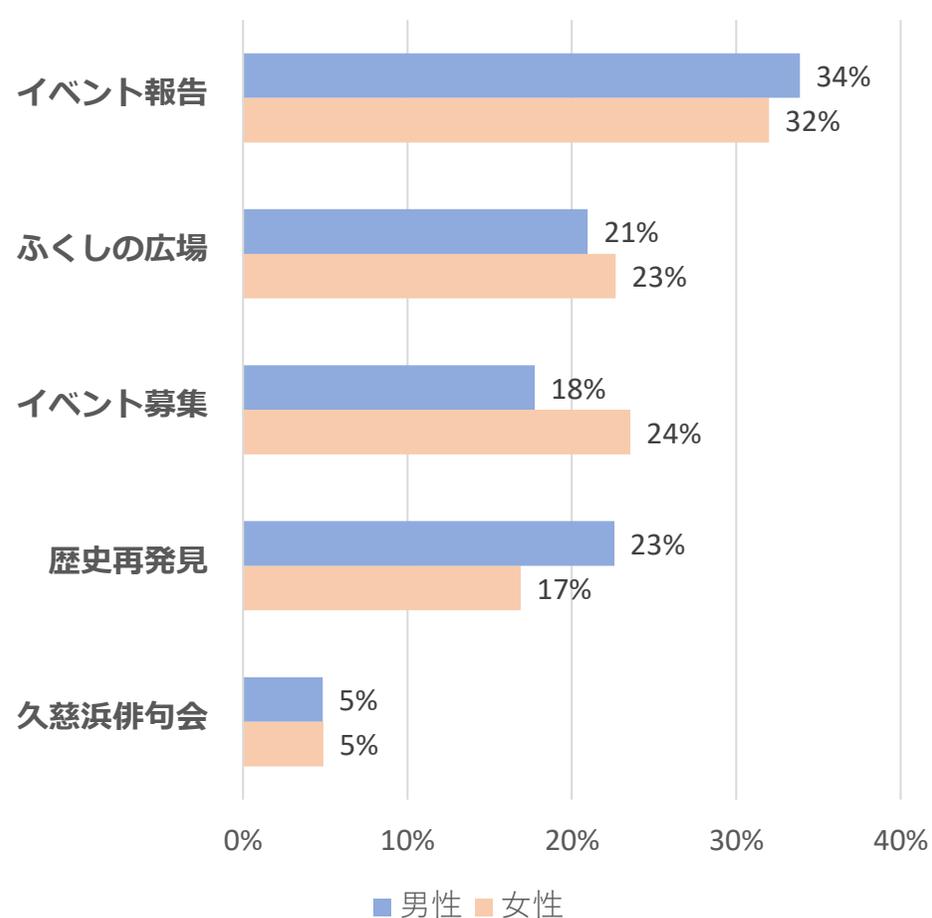
広報誌購読者はイベントの報告に最も多い関心を示す

男女別のコンテンツへの興味 :共にイベント報告が多いが、女性はふくしの広場、イベント募集、男性は歴史再発見が多い傾向

広報紙の中で興味のあるコンテンツ



性別によるの割合



ポジティブな 感想・支持

楽しみにしている要素

写真の豊富さや美しさ

「久慈コム」一面の写真が特に素敵で、楽しみにしている読者が多い

読みやすいレイアウトと紙面構成

写真や内容の配置が見やすく、興味を持てる工夫が高評価

内容の読み応え

イベント報告や地元情報が充実しており、参加意欲が湧くという声

歴史再発見への関心

歴史再発見への要望

久慈町の歴史（街並み、漁業のにぎわい）をテーマに取り上げてほしいとの要望

地域の土地風土や歴史的背景を深掘りしてほしい

地域への貢献

広報誌の称賛

地域密着型の情報誌であることが素晴らしい、との意見

「発行関係者の努力に感謝」という声が多い

今後への 期待・要望

写真の掲載

写真への要望

写真をもう少し大きく掲載してほしい。

予算が必要ななら広告の活用も検討してはどうかという提案

幅広い層に配慮

広報誌の年齢層に関する要望

全年齢層がもっと読みやすい広報誌にという意見

保存・機能性

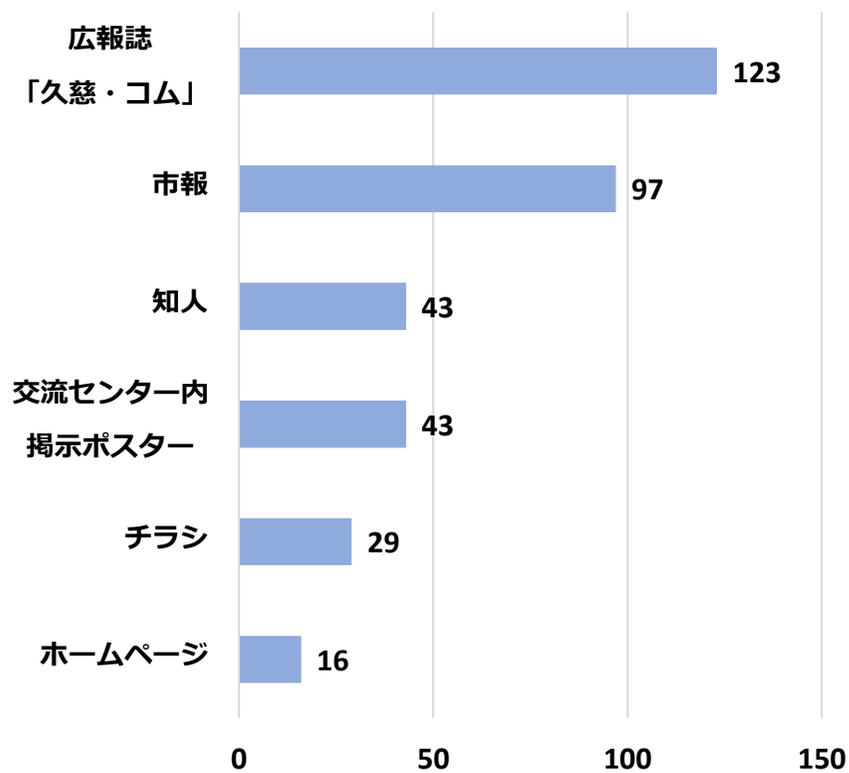
広報誌の作りに関する要望

広報誌を保存用に2穴（市報と同じように）開けてほしいという実用的な要望

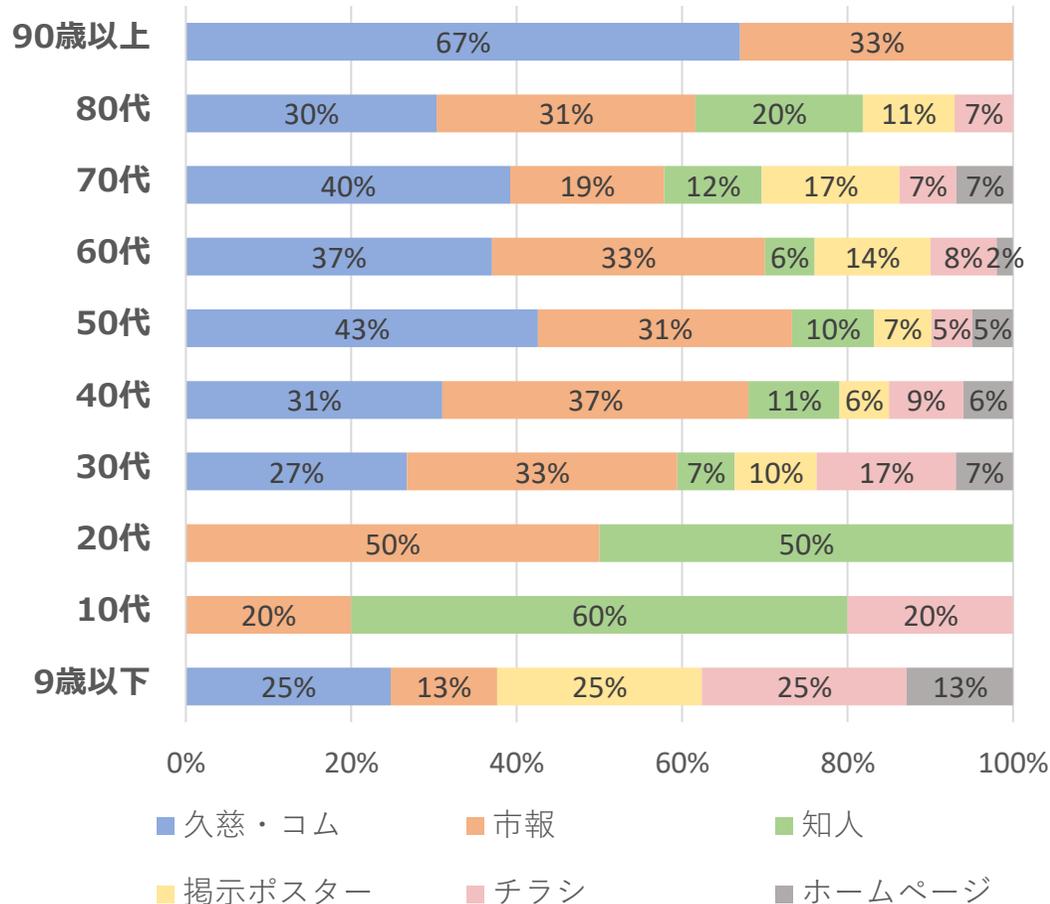
広報誌『久慈・コム』(123件)が最も多く、次いで市報(97件)が認知源として重要

「ホームページ(16件)」「チラシ(29件)」は相対的に低い：インターネットや一部の紙媒体は比較的利用が少ない傾向が見られる

コミュニティの活動を何で知りましたか

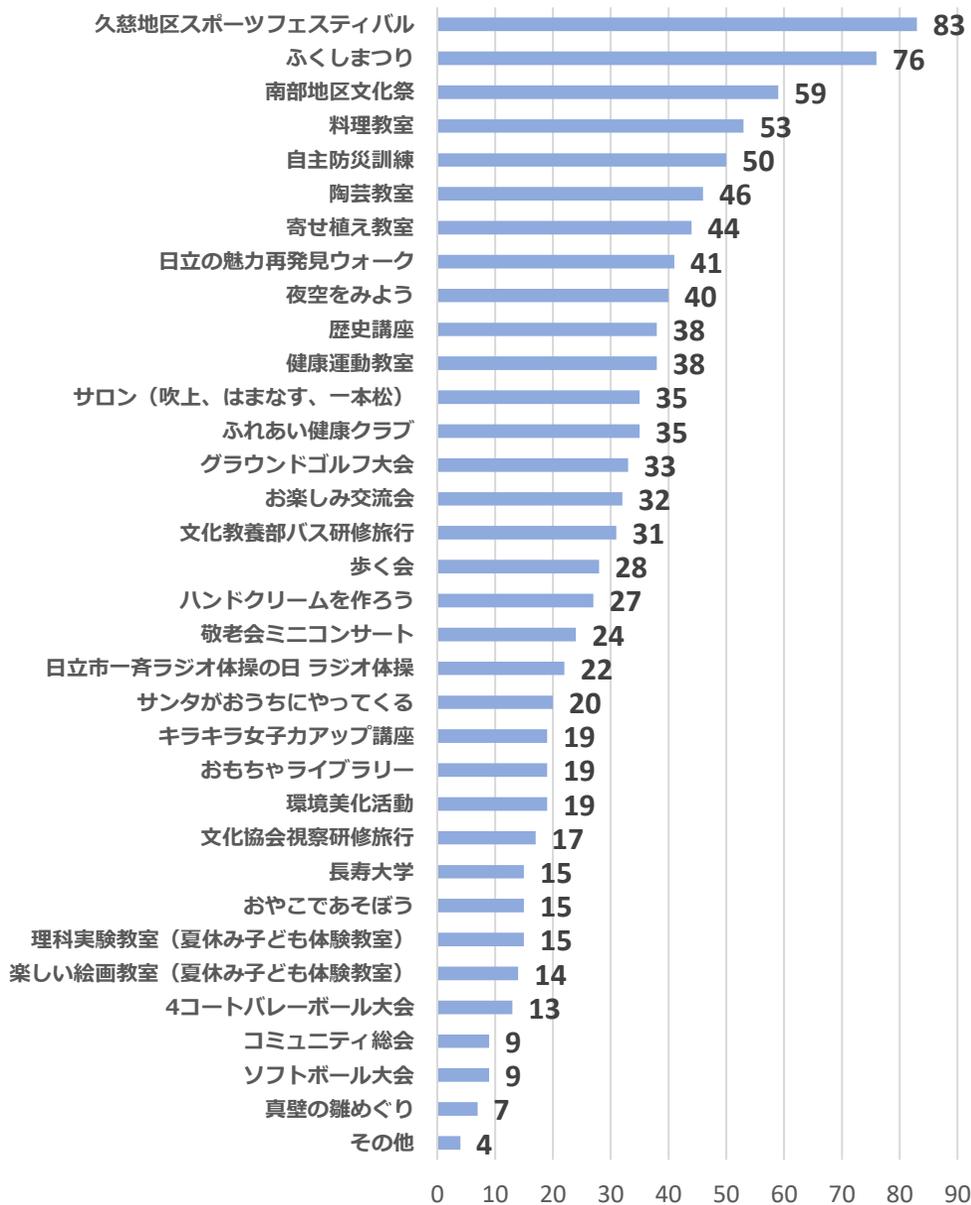


年代によるの割合



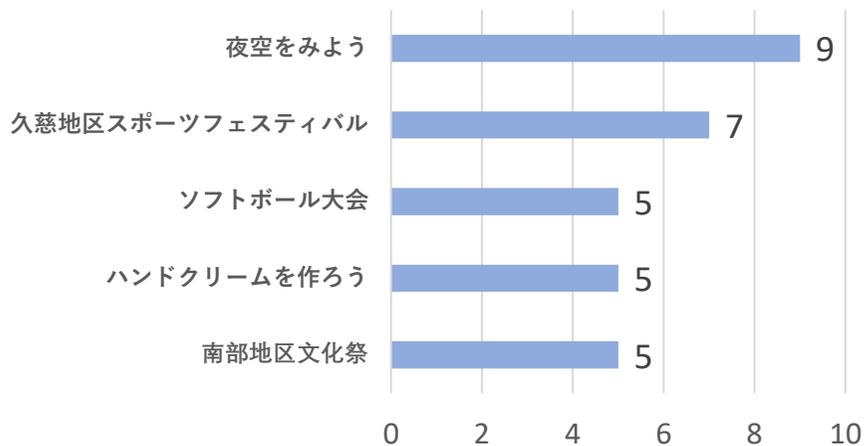
興味のあるコミュニティの活動

順位	項目	回答数
1	久慈地区スポーツフェスティバル	83
2	ふくしま祭り	76
3	南部地区文化祭	59
4	料理教室	53
5	自主防災訓練	50
5	陶芸教室	46
6	寄せ植え教室	44
7	日立の魅力再発見ウォーク	41
8	夜空をみよう	40
9	歴史講座	38
10	健康運動教室	38
11	ふれあい健康クラブ	35
12	サロン（吹上、はまなす、一本松）	35
13	グラウンドゴルフ大会	33
14	お楽しみ交流会	32
15	文化教養部バス研修旅行	31
16	歩く会	28
17	ハンドクリームを作ろう	27
18	敬老会ミニコンサート	24
19	日立市一斉ラジオ体操の日 ラジオ体操	22
20	サンタがおうちにやってくる	20
21	環境美化活動	19
22	キラキラ女子カアップ講座	19
23	おもちゃライブラリー	19
24	文化協会視察研修旅行	17
25	理科実験教室（夏休み子ども体験教室）	15
26	長寿大学	15
27	おやこであそぼう	15
28	楽しい絵画教室（夏休み子ども体験教室）	14
29	4コートバレーボール大会	13
30	ソフトボール大会	9
31	コミュニティ総会	9
32	真壁の雛めぐり	7
33	その他	4

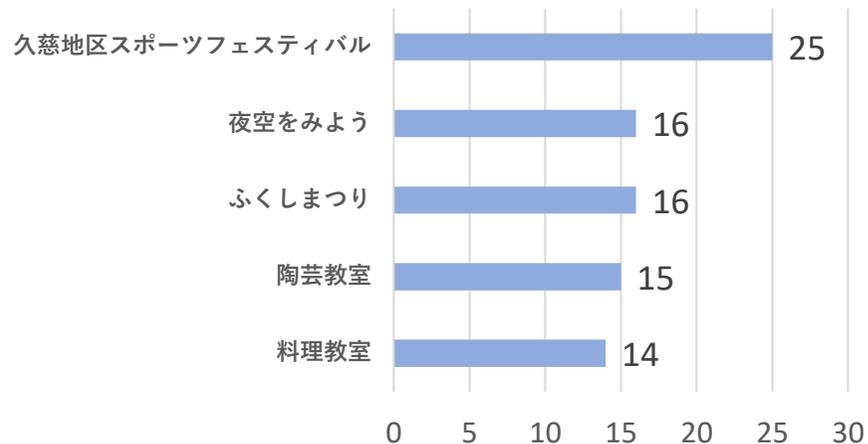


世代による関心分野の違い: 若い世代では「クリエイティブな体験」や「スポーツ」が注目される一方、高年層では「文化祭」「防災訓練」「グラウンドゴルフ」などに興味が集中

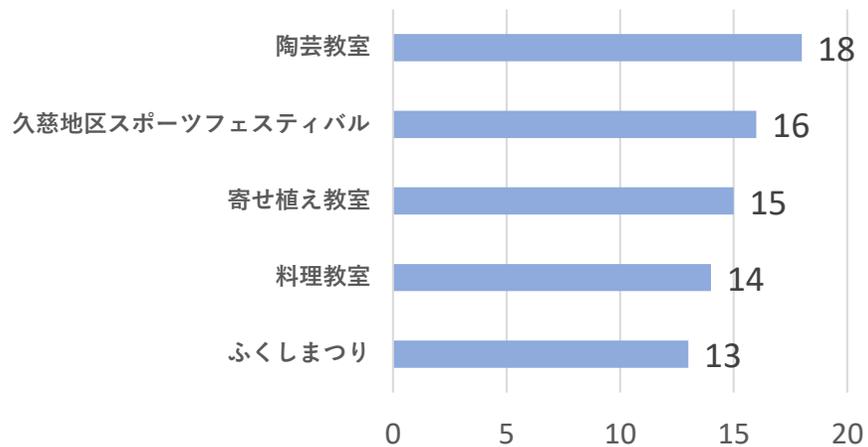
20代以下に人気の上位5つの活動



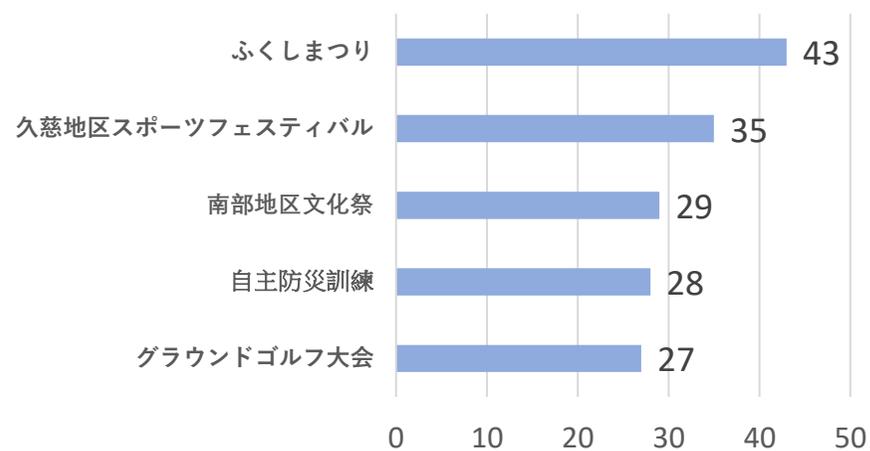
30代、40代に人気の上位5つの活動



50代、50代に人気の上位5つの活動



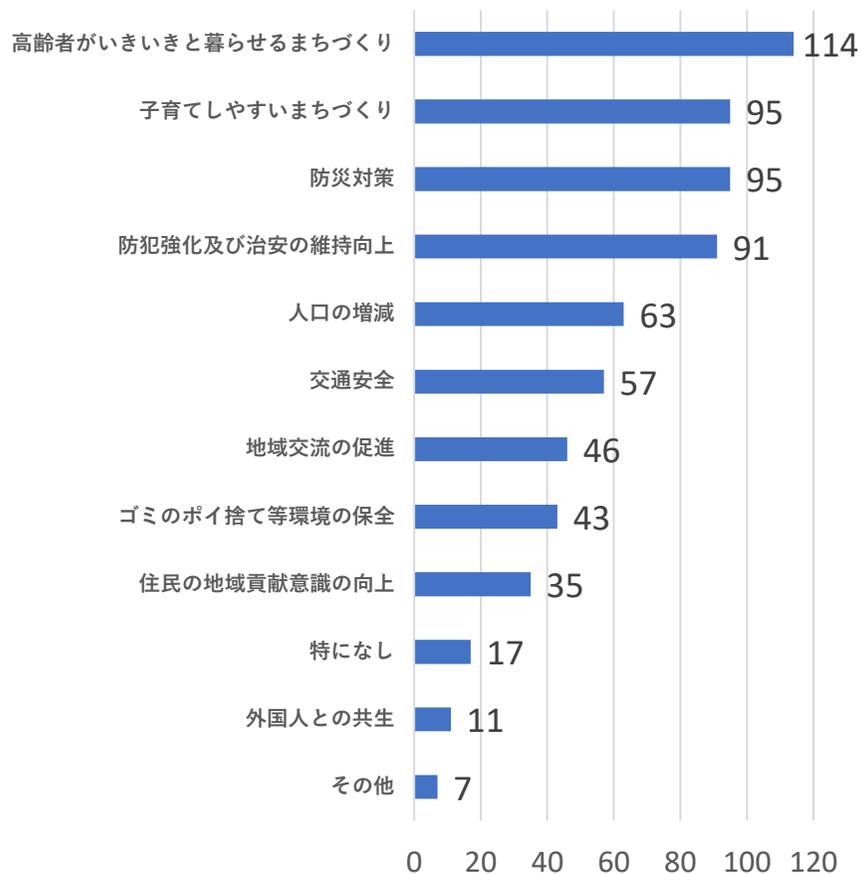
70代以上に人気の上位5つの活動



高齢者、子育て世代への課題：地域住民が高齢化問題に最も強く、子育て支援に関する課題が多く見られる。

防犯・防災と治安向上：地域の安全面に関する課題意識も根強く、安全で安心して暮らせるまちづくりが期待されている。

地域の課題



その他の意見

- 若い人が集まる街
- 町の活性化
- 空き家や震災あとの荒れた場所の除草にお金をかけてほしい。震災の被害かわからないが、どうにかならないか。危ない
- 商店街の活性化 商業施設の誘致
- 特に障害をもっている人たち、弱者、子どもから大人まで平等に暮らせる町づくり。体力的、対人関係築けない人たちに光をあてる政策考えてほしい。イベントに行けない人たちが希望をもてるような町づくりをしてほしい。
- 町外から来た方との共生
- 私を含めて、障害を持っていても杖、車椅子等を使って地域の方々と交流ができるようにしていくこと

参加率の比較：70代以上と比較すると若年層、中年層の参加率が比較的低い。また性別で見ると男性の参加率が若干低い

防災訓練に参加したことがありますか

ある

59%

参加したことがない

102人

ない

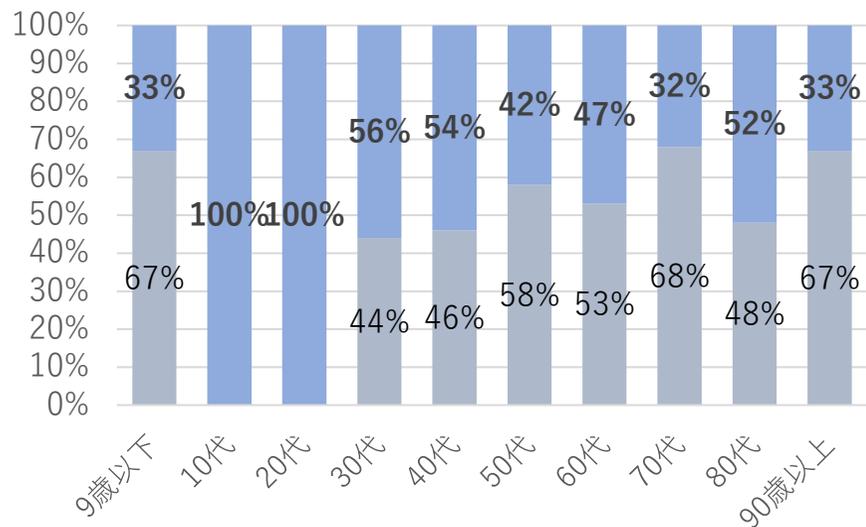
41%

ある

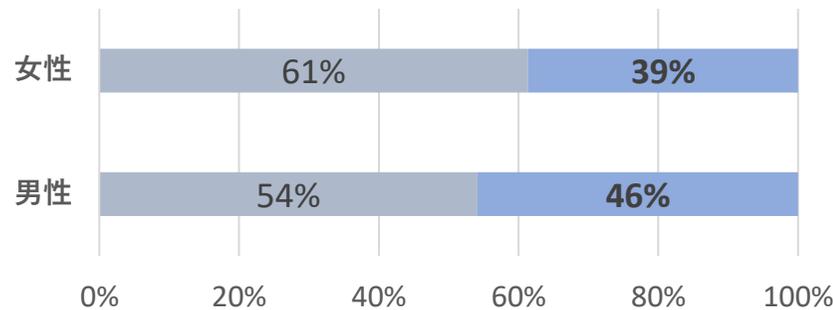
ない

参加したことがない

年代別に見た参加率割合



性別に見た参加率割合



防災対策を課題と感じている人：約29%は未参加。課題を意識しながらも参加に至っていない。

防災に「参加してみたい」と回答した人：16%は未経験だが参加したい意欲はありと回答。

地域の課題で“防災対策”を選んだ人
の中で防災対策に参加した事

地域の活動で“防災に参加してみたい”と
回答したが防災訓練に参加した事

ある

65人

ない

26人

防災対策を
課題と回答

91人

ない

8人

ある

42人

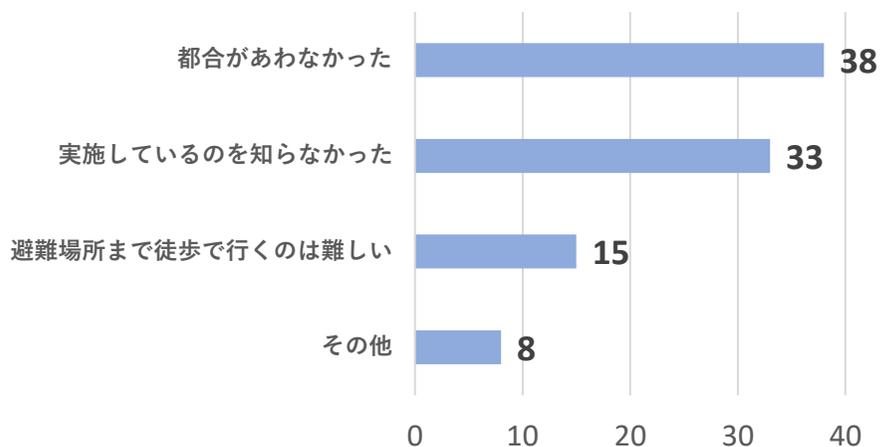
防災に参加を
してみたい

50人

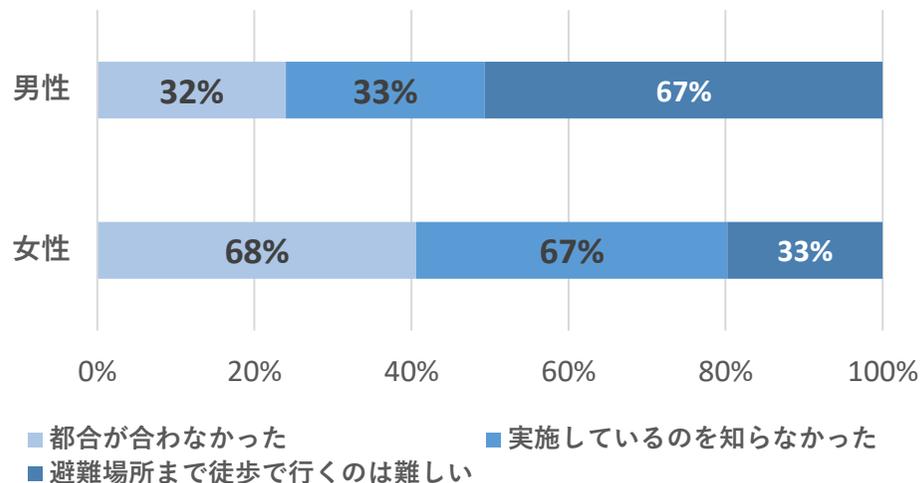
■ ある ■ ない

60代以上では「避難場所まで徒歩で行くのは難しい」が顕著に増加し、高齢者の身体的な問題が影響している

自主防災訓練に参加したことがない理由



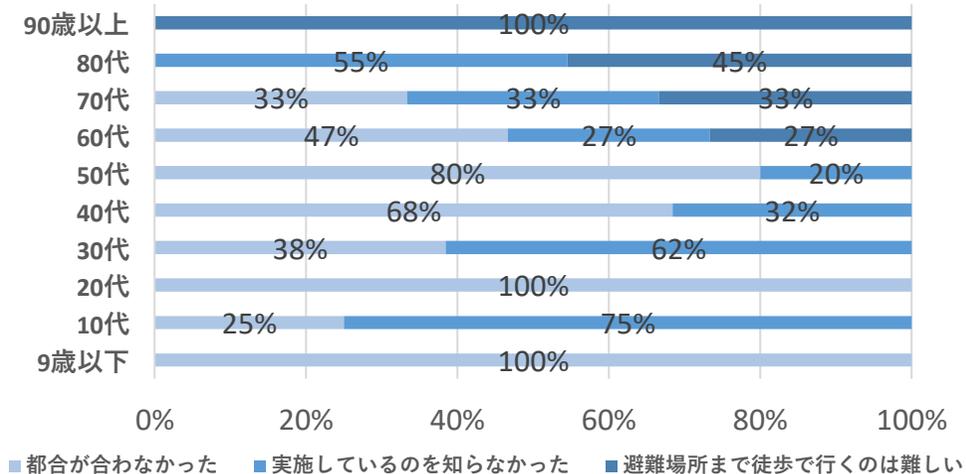
性別の自主防災に参加したことがない理由



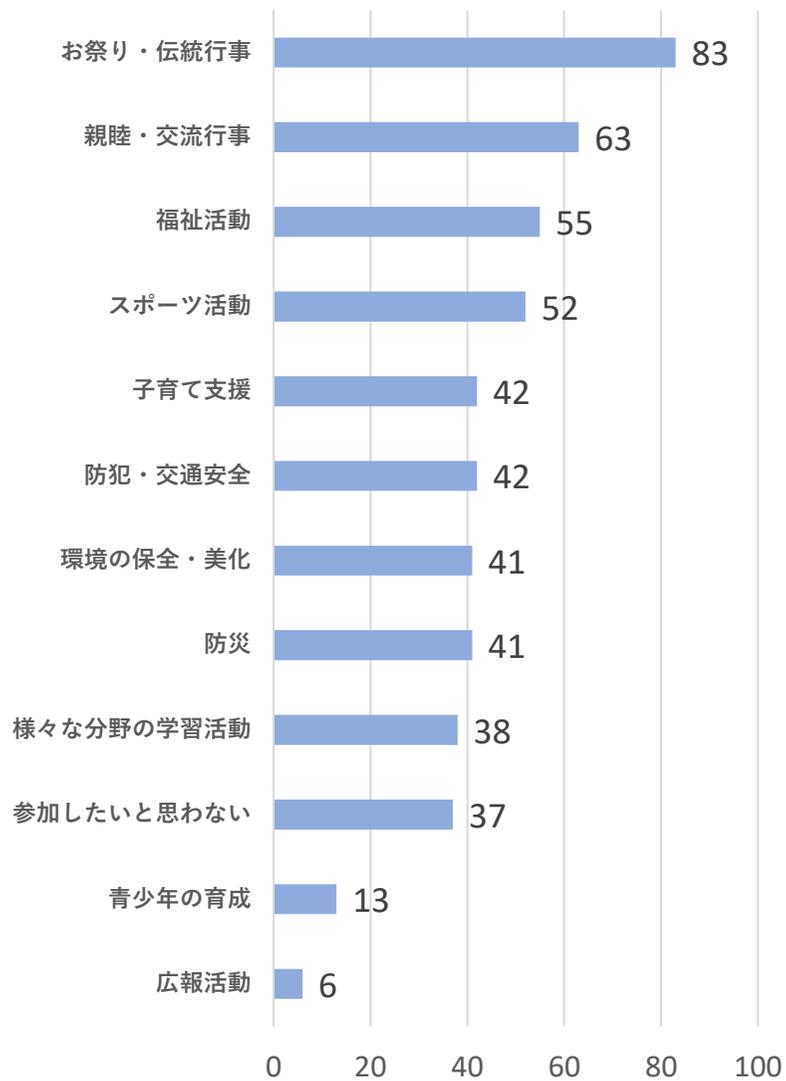
参加したことがない理由（その他）

- ・ 自宅が安全なため
- ・ 引っ越してきたばかりだから
- ・ 中学校への経路は疑問。（津波のない高台の富士神社から金井戸へ）
- ・ おっくうだったから、歩くのが遅い
- ・ 学区外
- ・ 介護をしているため
- ・ 記入なし
- ・ 仕事が忙しい

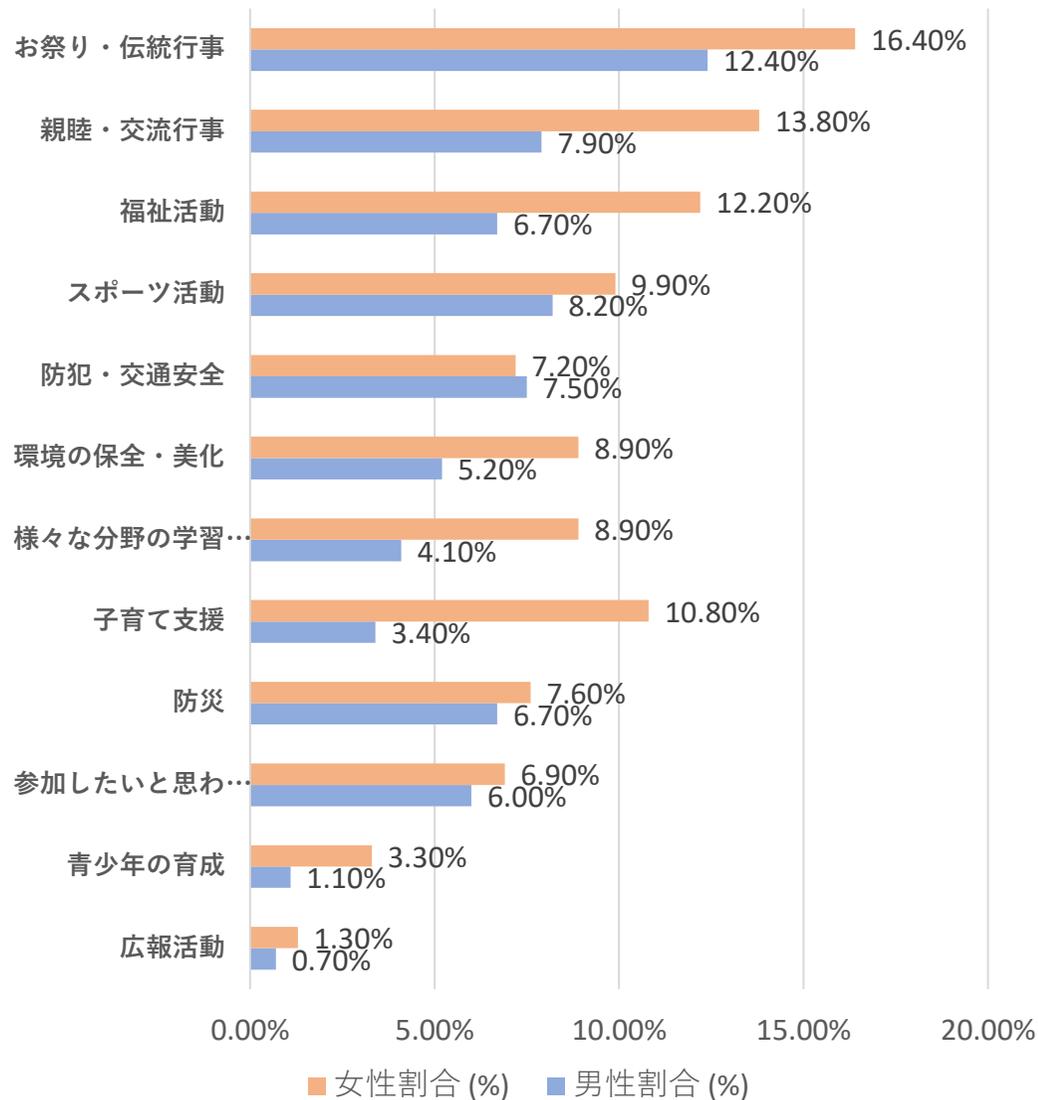
年代別の自主防災に参加したことがない理由



どのようなボランティア活動に
参加してみたいですか



性別による参加したいボランティア活動



意見や要望

ボランティア活動

- 日頃のボランティア活動への感謝の声。
- 協力者が減少していると感じる。
- 特に30代・40代の保護者の協力が少ない。
- ボランティアに参加しようと思っても「どうやって参加すればいいのかわからない」という意見。
- 声掛けや積極的な募集を行ってほしい。
- シニア層が子育て支援に参加できる制度があると良い

交通・移動の問題

- 高齢者や免許返上者にとって、移動が不便。
- イベント時に巡回バスや移動手段を確保してほしいとの声。

地域環境・インフラ

- 犬の飼い主のマナーへの苦情。
- 空き家問題についての懸念。
- 長期間放置されている空き家があり、美観や地域活動の妨げになっている。
- 犯罪抑止のために防犯カメラをもっと増やしてほしい。
- 公共表示（丁目番地表記など）が不足している。

イベント・教室

- 陶芸教室の再開を希望。
- 「サンタがお家に来る」イベントが好評だった。
- 夏休みの万華鏡作りは期待はずれとの声もあり、工作イベント全体の質向上を要望。
- 子どもが楽しめるようなイベントをもっと増やしてほしい。
- 料理教室の再開希望。
- 「いつも同じメニューになるので新しい料理を知りたい」という理由。

地域活動

- 若い世代の参加が少なく、もっと積極的な参加を促してほしい。
- 地域活動の情報が少なく、分かりやすい案内が求められている。
- 月日や具体的な参加方法が分からないと参加しづらい。
- 定期的な情報発信や案内確認を希望。

その他の意見

- 久慈地区は「自然が豊かで住みやすい」「気のいい人が多い」という評価。
- ゴみをなくし、美しい地域づくりを目指していきたいという意見。
- 高齢者向けの取り組みとして、話し相手の公募、面談、リモート交流を希望する声がある。
- 地域活動や行事を通じて「自分自身とコミュニティの関わり方を考えるきっかけになった」というポジティブな感想も。